CSS

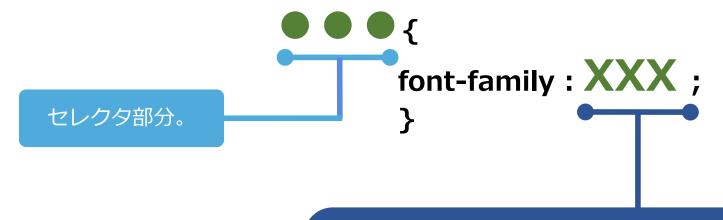
CSSの基本 2



プロパティの書き方 / font-family

解説

下記のようにfont-familyプロパティを利用すれば、フォントを指定して表示することができます。

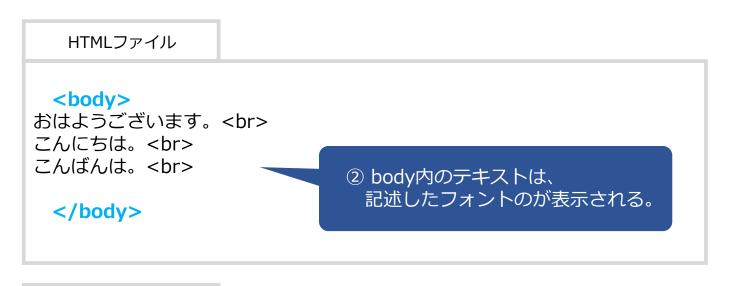


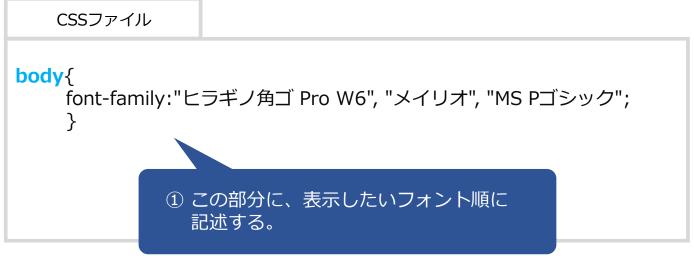
ここにフォントの種類を記述する。

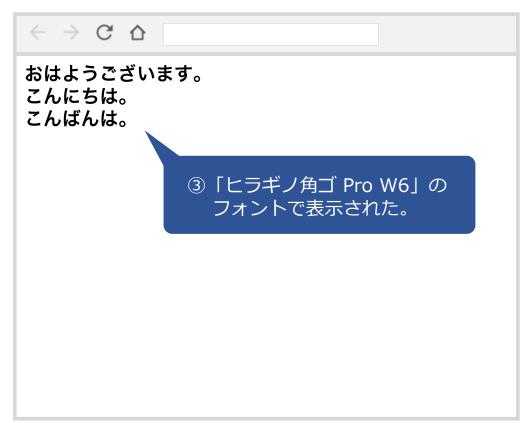
この部分に、複数のフォントをカンマで区切って記述すると、記述した順番(左から順番)に優先的に表示していきます。

例えば、Windows では「メイリオ」が無ければ「MS Pゴシック」、 Mac では「ヒラギノ角ゴシック」が無ければ、「MSPゴシック」を表示するなど。

タイプセレクタ + font-family



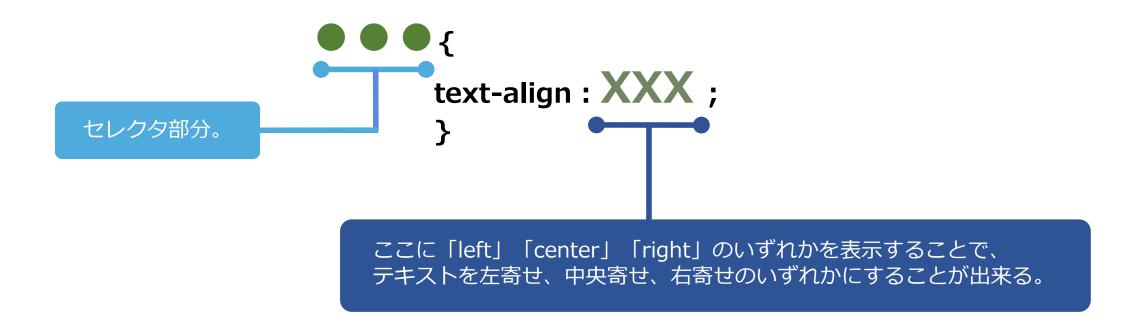




プロパティの書き方 / text-align

解説

下記のようにtext-alignプロパティを利用すれば、テキストを左寄せ、中央寄せ、右寄せで表示することが出来ます。



classセレクタ + text-align:left

```
HTMLファイル

<br/>
<br/>
<br/>
<div class="abc">おはようございます。</div>
</body>

② abcクラス内のテキストは
左寄せに指定される。
```

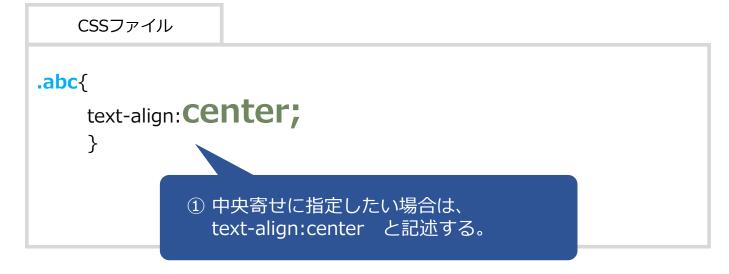




classセレクタ + text-align:center

```
HTMLファイル
<br/>
<body>
<div class="abc">おはようございます。</div>
</body>

② abcクラス内のテキストは中央寄せに指定される。
```





classセレクタ + text-align:right

```
HTMLファイル
<br/>
<body>
<div class="abc">おはようございます。</div>
</body>

② abcクラス内のテキストは
右寄せに指定される。
```

```
abc{
text-align:right;
}

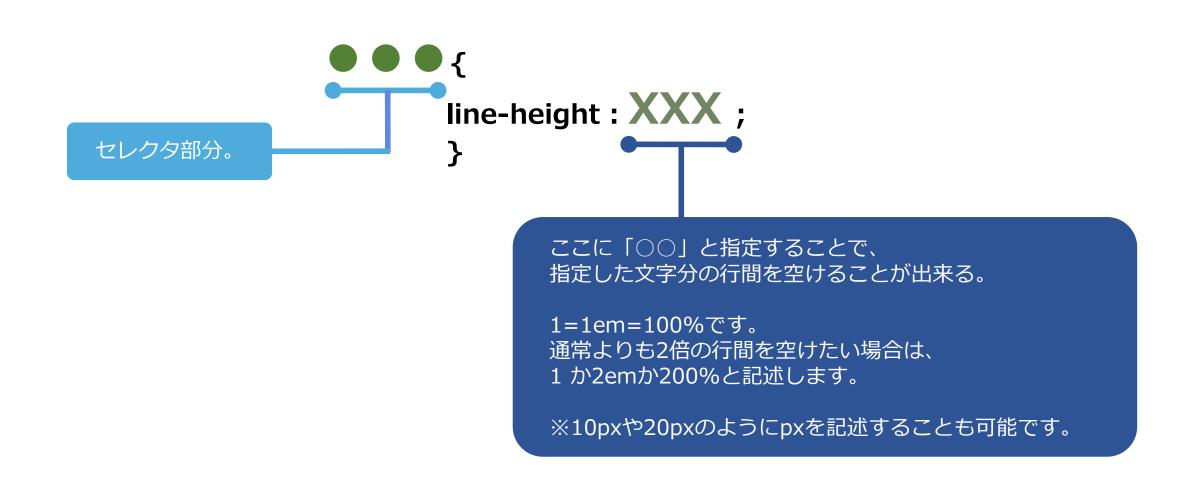
① 右寄せに指定したい場合は、
text-align:right と記述する。
```



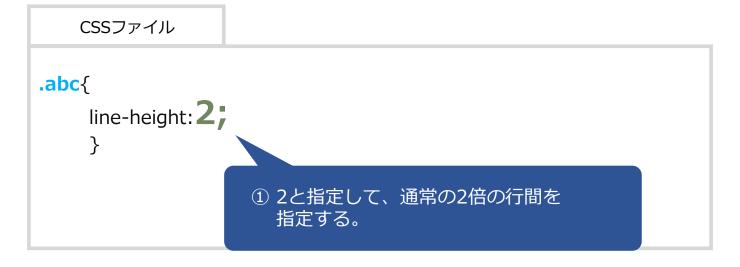
プロパティの書き方 / line-height

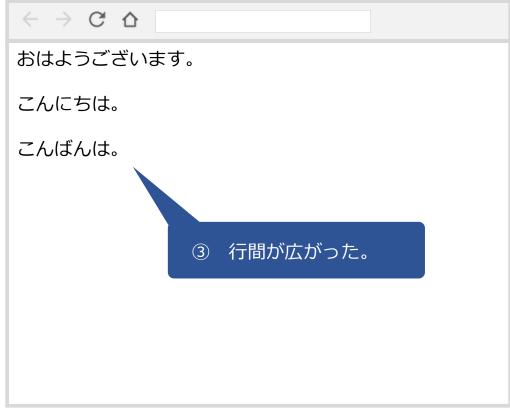
解説

下記のようにline-heightプロパティを利用すれば、テキストの縦の行間を指定することができます。



classセレクタ + line-height

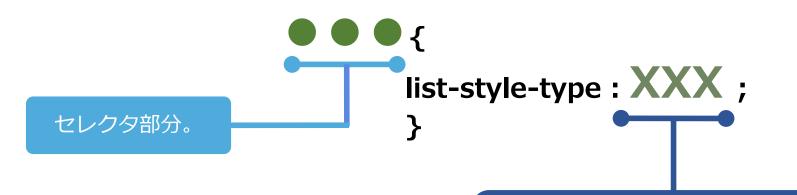




プロパティの書き方 / list-style-type:



通常のHTMLでは、リスト の中にを使用すると、黒丸で箇条書きを表現できますが、CSSで、list-style-typeを使えば、この黒丸を様々なデザインに変更することが出来ます。



ここに「黒丸(disc)」、「白丸(circle)」 「黒い四角(square)」、「表示なし(none)」などを 記述することで、箇条書きの表示デザインを 変更することができます。

クイプセレクタ + list-style-type





